

第4学年 社会科学学習指導案

1. 単元名 わたしたちの県のまちづくり

(教科書：『小学社会3・4下』p.120～130/ 学習指導要領：内容(6)ウ)

2. 単元の目標

- (1) 読谷村の伝統工芸や歴史的文化財，農産物をいかした「村おこし」について，南風原町と比較しながら調べ学習を行い，読谷村の特色を考えることができる。
- (2) 読谷村の概要や特色について調べてきたことを班で話し合いまとめることができる。
- (3) 読谷村の学びを踏まえ，南風原町の良さに気づき，地域の良さを発展させることについて考えることができる。
- (4) 読谷村の学びをもとに，より良い南風原町にするための提案をすることができる。

3. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子に関心をもち、意欲的に調べている。 ・より良いまちづくりへの提案を通して、地域への誇りや愛情をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の地域の様子をとらえ、それらと比べて特色を考えている。 ・地域に暮らす人々の願いについて、自分なりの考えや意見をもつことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子を観察や地図・資料などからとらえ、工夫して表現している。 ・調べたことを、視点に沿ってまとめたり、わかりやすく発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子や人々のくらしは場所によって違いがあることを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態について

本学級の児童は、学年当初から学習に対する意欲が高い子もいるものの、個としての主張が強い子や学習に意欲をもてない子も多く、学習に対する意欲は全体的に低かった。そのうえ、自分の考えに固執する児童も多く、他の児童の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比較したり、考えをふり返ったり、確かめたりしながら深めていく力も弱かった。

このような児童の実態をもとに、社会科の中では、具体的な事象を調べる活動や、考える機会を多く取り入れ、様々な人との出会いを重ねてきた結果、他者と関わることの大切さや、他者から学ぶことの喜びを感じ取れるようになってきた。さらに、自分の体験を学習にいかすことを通じて、学習の意欲も高まりつつある。

また、住んでいる場所の良さに気づき、自分の住んでいる地域に誇りをもつ児童が少ないという実態から、ここでは県内の他の市町村と比べる学習の中に「人・もの・こと」に触れる機会を多く取り入れ、地域の良さや課題などに気づかせるとともに、地域に対して誇りと愛情をもつ児童を育てていきたいと考えた。

(2) 教材について

本単元は、学習指導要領の目標(2)「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるように

する」を受けた単元であり、この目標と内容（6）「県（都、道、府）の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県（都、道、府）の特色を考えるようにする」を受け、本単元を構成した。

前単元「地域の発展につくした人々」の学習では、沖縄県の発展に尽くした先人の具体的な事例を調べ、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心について考えることができた。その中で、南風原町の発展に尽くした人々として「戦跡を文化遺産にするために尽力した人たち」と「観光の発展に尽力している人たち」について取り上げた。そのことにより、南風原町のまちづくりについて学習を深め、広げることができた。

それを受け、本単元では、地域社会の特色が現在および過去の人々の働きによって生み出されていることについて学習することになる。県内の特色ある地域の人々の様子を取り上げ、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域や、そこに見られる人々の生活の特色を具体的に調べていく。

今回教材として取り上げた読谷村は、紅いも製品の開発にとどまらず、水産資源やいくつかの農産物を活用し商品化している。また、伝統文化の継承・発信にも意欲的で、村内の各地域が主体的に活動し、村全体としても様々なプログラムを企画するなど、県内外への発信も活発に行われている。人口の増加も著しく、2014年4月1日には村としての人口が日本一となった。また、産業・文化面で読谷村と南風原町は共通する点が多く、比較教材としては最適だと考えた。前単元の学習を踏まえつつ、本単元では、特色ある地域と南風原町とを比較・検討しながら、それらの地域の工夫や努力を見つけるとともに、南風原町の良さにも気づかせていきたい。

（3）指導上の工夫・留意点

前単元「地域の発展につくした人々」の学習で、地域の人々の生活向上に尽くした先人の働きや苦心について学んでいるが、その内容を整理すると次のようになる。

- ①「人」について…儀間真常が行った木綿織りが、現在の南風原の琉球絣につながることを学んでいる。その中で、400年前の儀間真常が広めた織物が、様々な人の苦労や工夫によって発展していったことを知った。また、総合的な学習の時間に、現在、琉球絣の普及・発展に尽くしている方の話を聞いたことで、地域の発展に努力を重ねている人は、昔の人だけではないことに気づいていった。
- ②「もの」について…儀間真常が伝えた芋、黒糖作りや木綿織りの技術、宮良長包が作った様々な曲など、今に伝わるものがたくさんあることに気づいていった。また、それらのものが、以前と変わらず伝えられているのではなく、様々な工夫や改善を施されて発展していったことを学んだ。
- ③「こと」について…地域の中にあるものを大事に守り育て、未来につなげようとする人々の想いや、今も分業でそれぞれが責任をもって仕事を行う琉球絣の生産のあり方などに触れ、目には見えないものだが、地域のを大切に継承していく習慣があることを学んだ。

「人・もの・こと」をつなぎ、自分たちもつながる中で、地域への誇りや愛情をもてる児童が増えてきた。このような学びを踏まえつつ、本単元では、県内における自分たちのまちの地理的位置や特色などについて、読谷村と自分たちの地域の比較から気づかせていきたい。また、読谷村の村づくりに携わっている方の想いや願いを聞く中で、自分たちの地域をより良くするためのアイデアのヒントをもらい、それをもとに南風原の町づくりを行っている方に提案する

場面を設定し、より良い南風原町にするためにはどうすればよいのかを考えさせるようにした。

5. 単元の指導計画（総時数 12 時間＋総合的な学習の時間 8 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	読谷村の様子に関心を持ち、産業や人々のくらしの様子について、調べる計画を立てる。	○読谷村の様子に関心を持ち、産業や人々のくらしについて調べる計画を立て、グループ分けを行う。 ・読谷村の特産品や読谷村について知っていることを交流する。	◎読谷村の特産品 ◇調べたいことを決め、グループを作る。 ◆読谷村の特産品などに興味を持ち、意欲的に調べようとしている。 (関・意・態/発言)
② ⑧ （調べる） （＋総合的な学習の時間 8 時間）	グループに分かれて、調べる計画を立てる。	○グループに分かれて、調べたい項目を決定する。 ・調べる視点を全体で確認したあと、グループで話し合う。	◆調べる視点を確認し、グループごとに調べることがらをまとめている。 (技/ノート)
	抽出的発問：読谷村の村おこしの中での工夫や努力には、どのようなものがありますか。		
	読谷村について調べる。 ※インターネットを使って調べる(総合 2 時間)、南風原町と読谷村を比べる(総合 6 時間)	○グループで調べ学習を行う。 ・調べたいことを資料やインターネットを使ってまとめる。 ○(総合) 調べてわからなかったことを実際に読谷村に行ってみ聞きし、疑問を解決する。グループごとに読谷村と南風原町の違いを見つける。	◎インターネット、各種資料 ◇調べてわからなかったことを疑問点としてまとめるようにする。 ◆グループごとに考えた疑問について、インターネットを使って調べている。 (技/ノート)
	読谷村の良さについて、話し合う。	○調べてきたことをもとに、読谷村の未来について話し合う。 ・読谷村を知らない人に、グループで調べてわかった良さを伝えるにはどうすればよいのかを話し合う。	◆調べたことをどのように伝えればよいのかを考えている。 (思・判・表/話し合い)
	調べたことをまとめる。	○グループごとに調べたことをまとめる。 ・伝え方を考えながらまとめる。 ・パンフレットの作成	◎読谷村のパンフレット ◆グループごとに調べたことを見やすくまとめている。 (技/パンフレット)
⑨ ⑩ （まとめる）	グループで調べたことを発表し合い、わかったことをまとめる。	○グループごとに調べたことを発表する。 ○各グループの発表を受け、わかったことをノートにまとめる。	◆調べたことをもとに、グループでわかりやすく発表しようとしている。 (思・判・表/ノート)
解釈的発問：読谷村の良いところは、どのようなところでしょうか。			

⑪ ⑫ (深める) 【本時】	読谷村の村づくりと南風原町のまちづくりについて考える。	○これまで読谷村の村づくりについて考えてきたことをもとに、南風原町のまちづくりについて考える。	◆これまでに調べたことをまとめ、読谷村に暮らす人々の願いをとらえている。 (知・理/ノート)
	南風原町のまちづくりを提案する。	○これまで調べたことをもとに、南風原町のまちづくりについて提案する。 ・お世話になった文化センターや役場の人に向けて提案する。	◎提案資料 ◆調べたことをもとに、南風原町のまちづくりについて考え、わかりやすく発表している。 (思・判・表/発表・ノート)
熟考・評価的発問：読谷村の村おこしから、南風原町のまちづくりにいかせることを提案しよう。			

6. 本時の指導（第12時）

(1) 本時のねらい

読谷村の村おこしを参考にして、南風原町のまちづくりについて話し合ったことを、南風原町の町おこしとして提案することができるようにする。

(2) つなぎ・つながる学びを創り出すために

本時では、これまで調べてきた読谷村の村おこしを参考に、これからの南風原町のまちづくりについて仲間と意見を交流してきたことを、町おこしとして提案する。子どもたちが考えた南風原町のこれからのまちづくりについて、実際にまちづくりを行っている観光協会の方と役場職員の方へ提案するという形で、これまでの学びを表現する。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
導入 (5分)	○前時までにグループで調べた、読谷村の村おこしの工夫や人々の努力について、まとめたことを確認する。 T：読谷村の人々は、どのような村おこしの工夫をしていましたか。 C：特産品をいかした商品開発を行っていた。 C：伝統工芸品を大切にしていた。 C：観光客を呼ぶ工夫をしていた。 ○本時のねらいを確認する。 T：今日は、役場のSさん、文化センターのTさん、琉球絃を教えて下さったYさんが来てくれています。これまで、読谷村の村おこしについて学んできたことをもとに、未来の南風原のまちづくりにいかせることを、お世話になった方々に提案しましょう。	◎南風原町のまちづくりの提案資料 ◇これまで学んできた読谷村の村おこしの工夫や努力を、全体で確認する。

展開
(30分)

○読谷村の村おこしを参考にして、自分たちが考えた南風原町のまちづくりのアイデアをグループごとに発表する。

(観光グループ)

- ・名物が世界にひろがるといい。
- ・かぼちゃ狩りツアーを行う。
- ・観光コースをつくる。

(農業・漁業グループ)

- ・たくさんの特産品をつくる。
- ・南風原の特産物を給食に入れる。

(伝統工芸グループ)

- ・琉球絣を織る人を増やす。
- ・琉球絣の着物を着る人を増やす。

(戦争・平和グループ)

- ・平和の大切さを発信する。
- ・文化センターを活用して、わかりやすく展示する。

○子どもたちが発表したアイデアについて、お世話になった方々からアドバイスや感想をもらう。

ゲストティーチャー：

みなさんの発表はすごくよかったですので、とても参考になりました。でも、これは大人の皆さんへの提案なので、たくさんの人に伝える方法やみなさん自身ができることはありませんか？

T: お世話になった先生方がおっしゃってくれたように、大人だけではなく、皆さん自身にもできることはないか、10分で考えて下さい。

○子ども自身にもできることを考える。

T: たくさんの人に伝える方法や、小学生でもできそうなことで、考えたことはありませんか？

(観光グループ)

C: スタンプラリーをつくる。

C: 観光コースをつくる。

(農業・漁業グループ)

C: かぼちゃ狩り大会を行う。

C: 特産物をめぐるツアーを考える。

(伝統工芸グループ)

C: 絣の商品開発を行う。

(戦争・平和グループ)

C: 平和をめぐるバスツアーのコースを考える。

C: 体験コースを考える。

◆調べたことをもとに、南風原町のまちづくりについて考え、わかりやすく発表している。

(思・判・表／発表・ノート)

まとめ
(10分)

○読谷村の村おこしから学んだことを、南風原町のまちづくりの中にいかすことができたのかを振り返る。

T: 南風原町のまちづくりに関わっている人は、前から町に住んでいる役場のSさんに加え、他の市町村から来た文化センターのTさん、県外から移り住んできたYさんのように、もともと南風原町に住んでいなくても、住んでいるこの地域をより良いまちにするために、工夫や努力を行っているのですよね。これまで学んだ読谷村の人々もそれ以外の地域も、自分の住んでいる場所を良くしていこうとする気持ちは同じです。その思いがいくつも集まって沖縄をつくっているし、日本がつくられているのではないかと思います。みなさんも、まちづくりを行う一人として、これから素敵な南風原町をつくっていけるといいですね。では、これから、自分はどのようなまちをつくっていききたいのかを考え、ふり返りを書いてください。

○学習のふり返りを発表する。

C: 今日は、これまで読谷村について学んだことをもとに、南風原町のまちづくりについて考えました。自分たちのアイデアが将来、本当に実現すると嬉しいです。

◇南風原町のまちづくりの提案だけでなく、これまでの学習全体を振り返る。

(4) 板書計画

めあて：南風原町のまちづくりに活かせることを提案することができる。

南風原のまちづくりに関わっている人
南風原出身・他市町村・県外・外国の人

<p>①観光グループ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>観光グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・チラシ</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>観光グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>・発表会</p> <p>・観光コース</p> <p>・スタンプラリー</p> </td> </tr> </table>	<p>観光グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・チラシ</p>	<p>観光グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・発表会</p> <p>・観光コース</p> <p>・スタンプラリー</p>	<p>②農業・漁業グループ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>農業グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・かぼちゃ狩り大会</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>農業グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>・特産物をめぐる ツアー</p> <p>・かぼちゃの日</p> </td> </tr> </table>	<p>農業グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・かぼちゃ狩り大会</p>	<p>農業グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・特産物をめぐる ツアー</p> <p>・かぼちゃの日</p>	<p>③伝統工芸グループ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>伝統工芸グループ ・南風原町のよ いところ</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(商品開発)</p> <p>・ノートの表紙</p> <p>・手袋</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>伝統工芸グループ ・まちづくりに いかしたいこと</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>・プロジェクト</p> <p>チームをつくる</p> </td> </tr> </table>	<p>伝統工芸グループ ・南風原町のよ いところ</p>	<p>(商品開発)</p> <p>・ノートの表紙</p> <p>・手袋</p>	<p>伝統工芸グループ ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・プロジェクト</p> <p>チームをつくる</p>	<p>④戦争・平和グループ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>戦争・平和グループ ・南風原町のよ いところ</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>(平和を伝える方法)</p> <p>・平和をめぐるバスツアー</p> <p>・体験コースをつくる</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>戦争・平和グループ ・まちづくりの 願い</p> </td> <td></td> </tr> </table>	<p>戦争・平和グループ ・南風原町のよ いところ</p>	<p>(平和を伝える方法)</p> <p>・平和をめぐるバスツアー</p> <p>・体験コースをつくる</p>	<p>戦争・平和グループ ・まちづくりの 願い</p>	
<p>観光グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・チラシ</p>																		
<p>観光グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・発表会</p> <p>・観光コース</p> <p>・スタンプラリー</p>																		
<p>農業グループ A ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>(たくさんの人に 伝える方法)</p> <p>・かぼちゃ狩り大会</p>																		
<p>農業グループ B ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・特産物をめぐる ツアー</p> <p>・かぼちゃの日</p>																		
<p>伝統工芸グループ ・南風原町のよ いところ</p>	<p>(商品開発)</p> <p>・ノートの表紙</p> <p>・手袋</p>																		
<p>伝統工芸グループ ・まちづくりに いかしたいこと</p>	<p>・プロジェクト</p> <p>チームをつくる</p>																		
<p>戦争・平和グループ ・南風原町のよ いところ</p>	<p>(平和を伝える方法)</p> <p>・平和をめぐるバスツアー</p> <p>・体験コースをつくる</p>																		
<p>戦争・平和グループ ・まちづくりの 願い</p>																			